

# ウクライナが統治している地域に おける一般市民の現状

社会科学研究所第335回定例研究会

2023年1月23日

教養教育研究院

ペトリシェヴァ・ニーナ

[yamnina@lets.chukyo-u.ac.jp](mailto:yamnina@lets.chukyo-u.ac.jp)

• 2022年2月24日午前3時40分

最初の戦車が国境を超える

• 午前4時ちょっと前に

少なくとも64本のミサイルで42の都市を攻撃

• それ以来、定期的なミサイルによる攻撃

• ロシア軍がキエフ周辺まで侵入、その後は一部撤退

• 国連が認めている民間人の犠牲者:

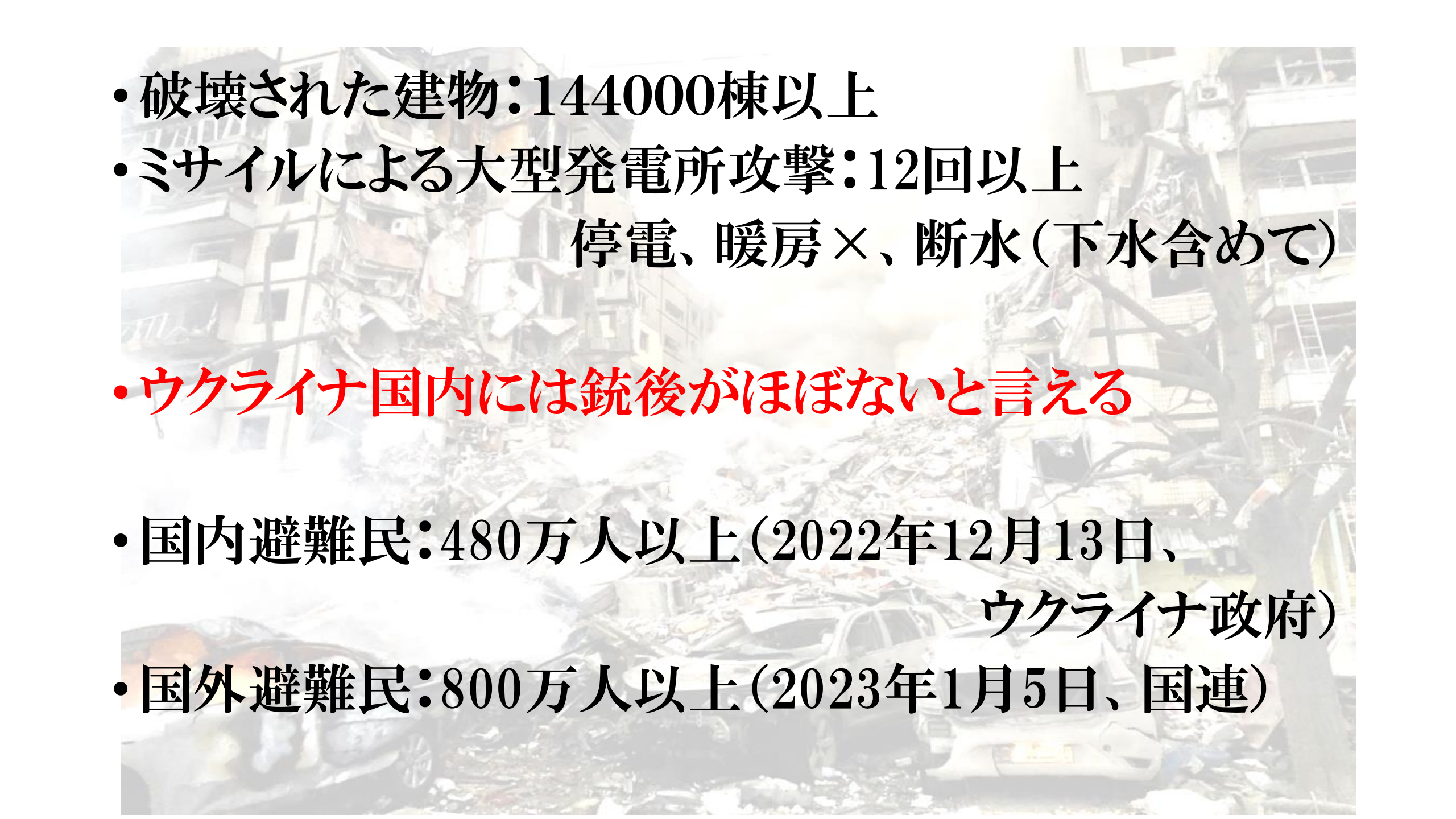
死者: 7000人以上

重傷者: 11320人以上







- 
- 破壊された建物：144000棟以上
  - ミサイルによる大型発電所攻撃：12回以上  
停電、暖房×、断水（下水含めて）
  - **ウクライナ国内には銃後がほぼないと言える**
  - 国内避難民：480万人以上（2022年12月13日、  
ウクライナ政府）
  - 国外避難民：800万人以上（2023年1月5日、国連）



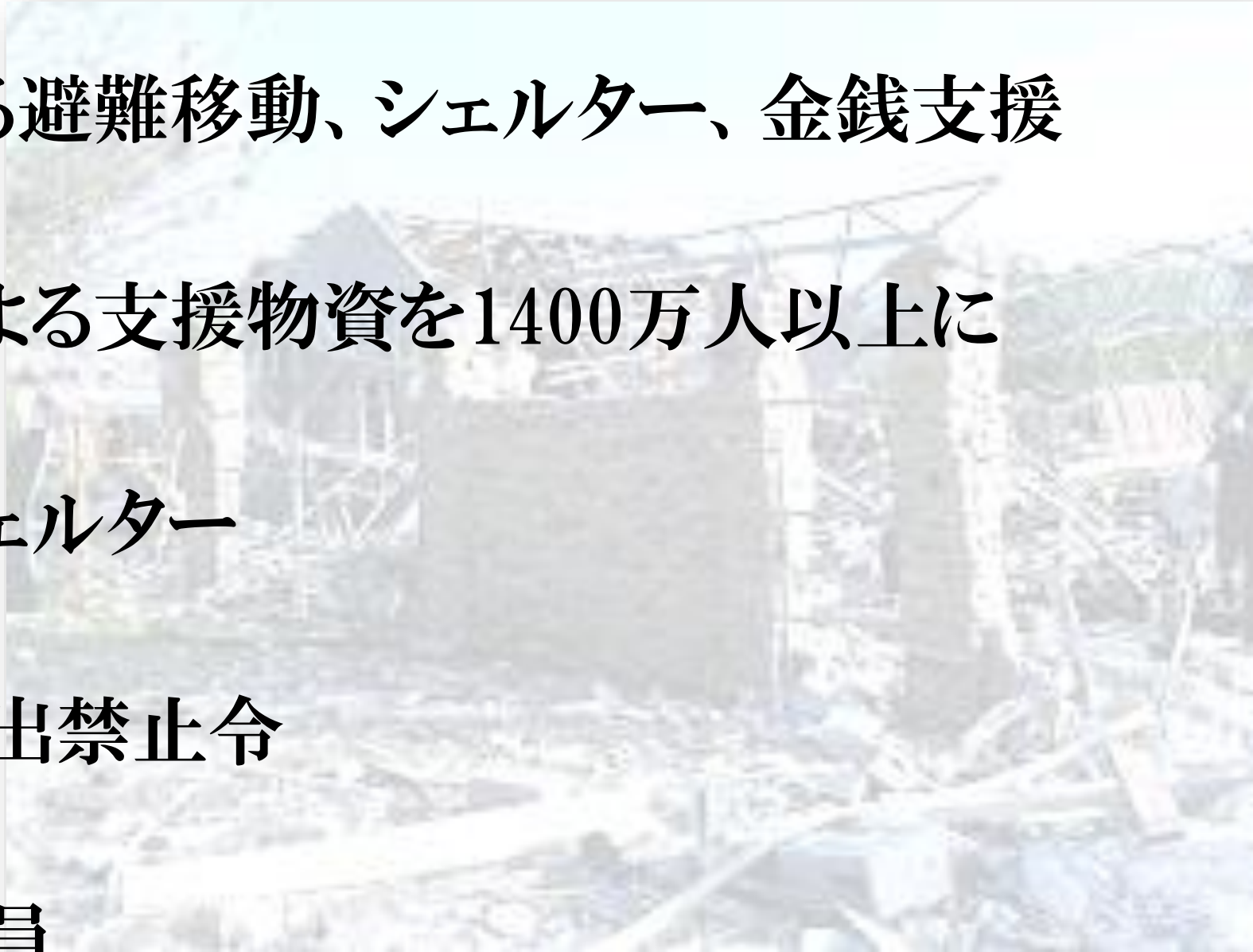
- 毎月13000の中小企業が閉鎖
- 移転した企業:770件以上(2022年12月16日)
- 食料品値上げ:平均して倍以上(卵350%、財務省)
- 賃貸住宅

Плата за оренду 1-кімнатної квартири, грн

Регіон	грудень 2021	грудень 2022	Зміна, %
Україна	4 294	5 699	32,7
Львівська	5 191	10 977	111,5
Закарпатська	4 399	8 706	97,9
м.Київ	8 513	7 637	-10,3
Хмельницька	4 202	7 165	70,5
Чернівецька	3 958	7 095	79,3
Дніпропетровська	3 694	6 080	64,6
Черкаська	3 809	5 958	56,4
Полтавська	4 094	5 560	35,8
Рівненська	3 936	5 314	35,0
Вінницька	3 723	5 082	36,5

Волинська	3 421	5 049	47,6
Кіровоградська	2 823	4 906	73,8
Івано-Франківська	2 619	4 794	83,1
Одеська	5 081	4 600	-9,5
Житомирська	4 110	4 440	8,0
Київська	3 883	4 066	4,7
Тернопільська	3 038	4 047	33,2
Чернігівська	3 363	3 740	11,2
Харківська	4 966	3 430	-30,9
Миколаївська	3 256	3 373	3,6
Запорізька	2 998	2 931	-2,2
Херсонська	2 852	2 905	1,9
Сумська	2 364	2 473	4,6
Донецька	3 110	немає даних	-
Луганська	2 256	немає даних	-

Дані:Держстат

- 
- 国による避難移動、シェルター、金銭支援
  - 各国による支援物資を1400万人以上に
  - 攻撃シェルター
  - 夜間外出禁止令
  - 軍事動員

- 報告対象：ロシアによる占領されたことないウクライナの市村にいる一般市民生活
- 調査方法：日常コミュニケーション、自由記述アンケート、SNS情報、マスコミ
- テレグラムチャンネル <https://t.me/MihaAnarchyst>  
65640登録者      Миха Анархист Чаплыга
- そのチャット <https://t.me/ReconquistaUA>  
4960参加者      Миха Анархист Chat



## ・自由記述アンケートの質問

- 1) 戦争時の人間関係(悲しいと喜ばしいこと)
- 2) 日常生活における困難点とその乗り越え方
- 3) 国家による支援(プラス点、マイナス点)
- 4) あなた自身は周りの人に手伝ったり手助けしたりするかどうか？

(手伝うなら、どういうふうに。手伝わないなら、なぜ)

- ・得た回答は147件、内4件は対象外 = 143件
- ・除外した理由: 1件は軍人、1件は国外避難者、  
2件はロシア連邦が占領している領域

• 人間関係(悲しいこと) {とても少ない割合}  
言語 人々の絶望 前線に近い・遠いまち 格差

疑わしい者 人の本音が見えてきた うらやましさ

西ウクライナで東ウクライナはすぐ負ければいい

国家報道機関に信じられない(統一ニュース)

裏切り者 地方政治との対立 黙り避難 アグレッション



• 人間関係(うれしいこと) {回答の大半} 時間に伴う変化  
知らない人々でさえとの絆 ボランティア 家族絆

動物の助け コミュニティの防衛 隣人の団結意識

助け合い 職場で子供への配慮 学校の先生方

みんな働き者 医療関係者 公共機関関係者

非常事態組織の業務員 自己犠牲 社会位置壁の崩れ

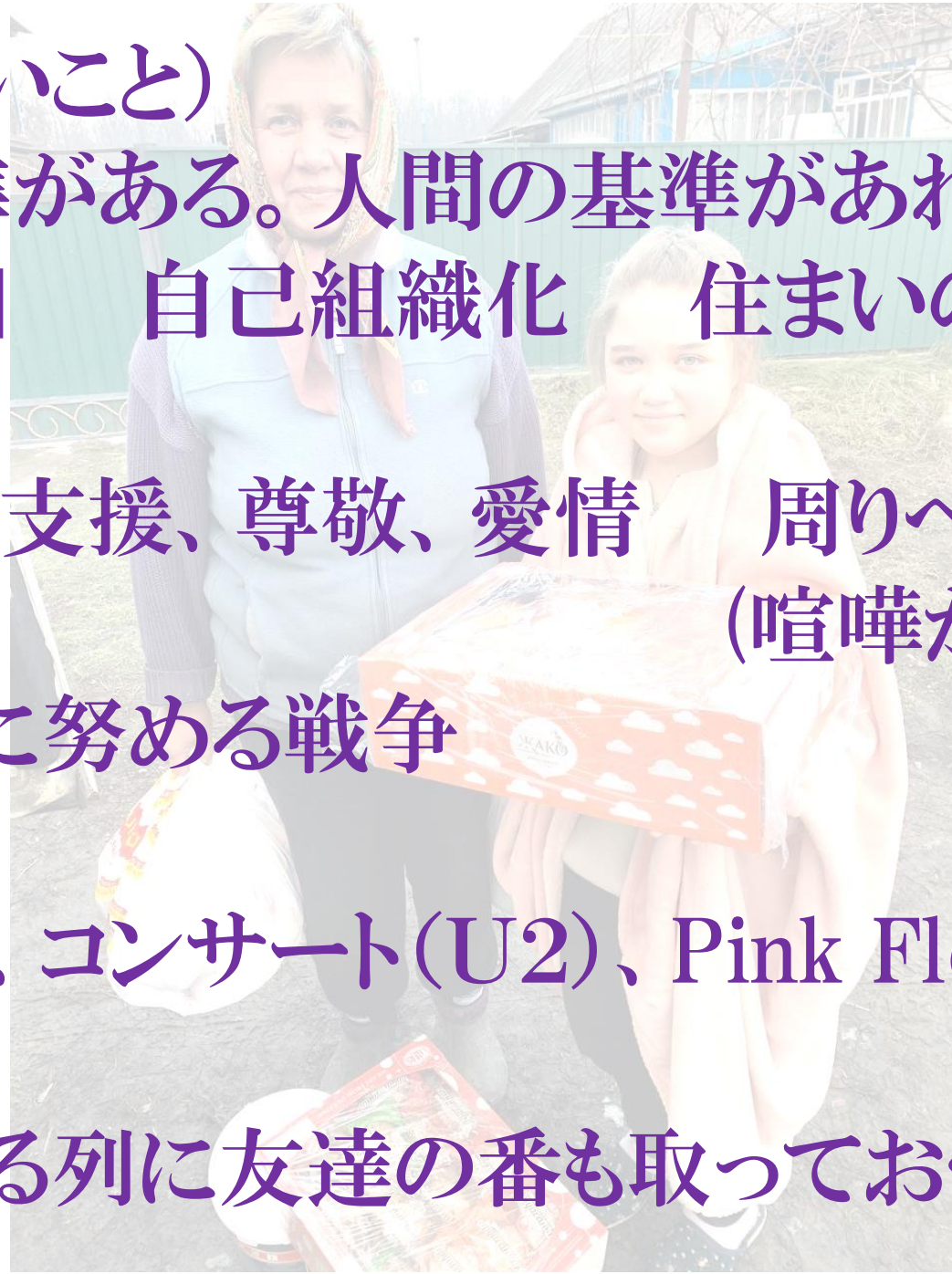
• 人間関係(うれしいこと)  
「1メートルの基準がある。人間の基準があれば、  
ウクライナ人だ」 自己組織化 住まいの無料提供

ウクライナ軍への支援、尊敬、愛情 周りへの配慮  
(喧嘩が少ない)

政治的民族作りに努める戦争

地下鉄での演劇、コンサート(U2)、Pink Floyd +

志願兵を登録する列に友達の番も取っておく





A photograph of two elderly individuals, likely in a care facility or community center, wearing hairnets and aprons. They are focused on preparing food, specifically what appears to be dumplings or small pastries, on a tray. The background shows a clean, well-lit kitchen area with wooden cabinets and tables.

・日常生活における困難点とその乗り越えかた  
食料品の種類が少ない 洗剤等が少ない

停電(ディーゼル発電機、太陽パワーバンク)

断水(水をためる) 堅固の点

ATMなどで引き出しできない→お店やガススタンド

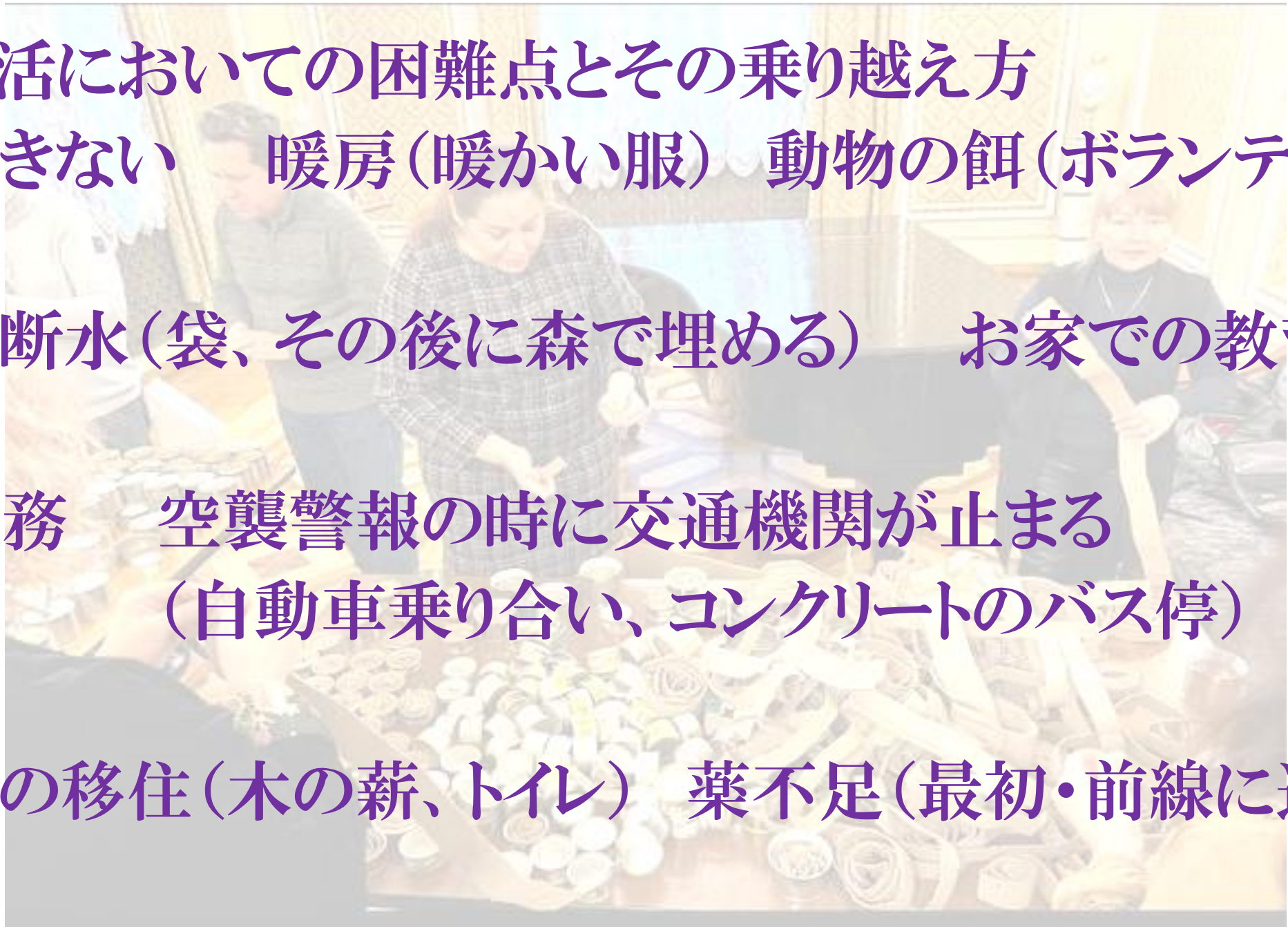
オンライン教育 給料未払い・リストラ(少ない)

・日常生活においての困難点とその乗り越え方  
電話できない 暖房(暖かい服) 動物の餌(ボランティア)

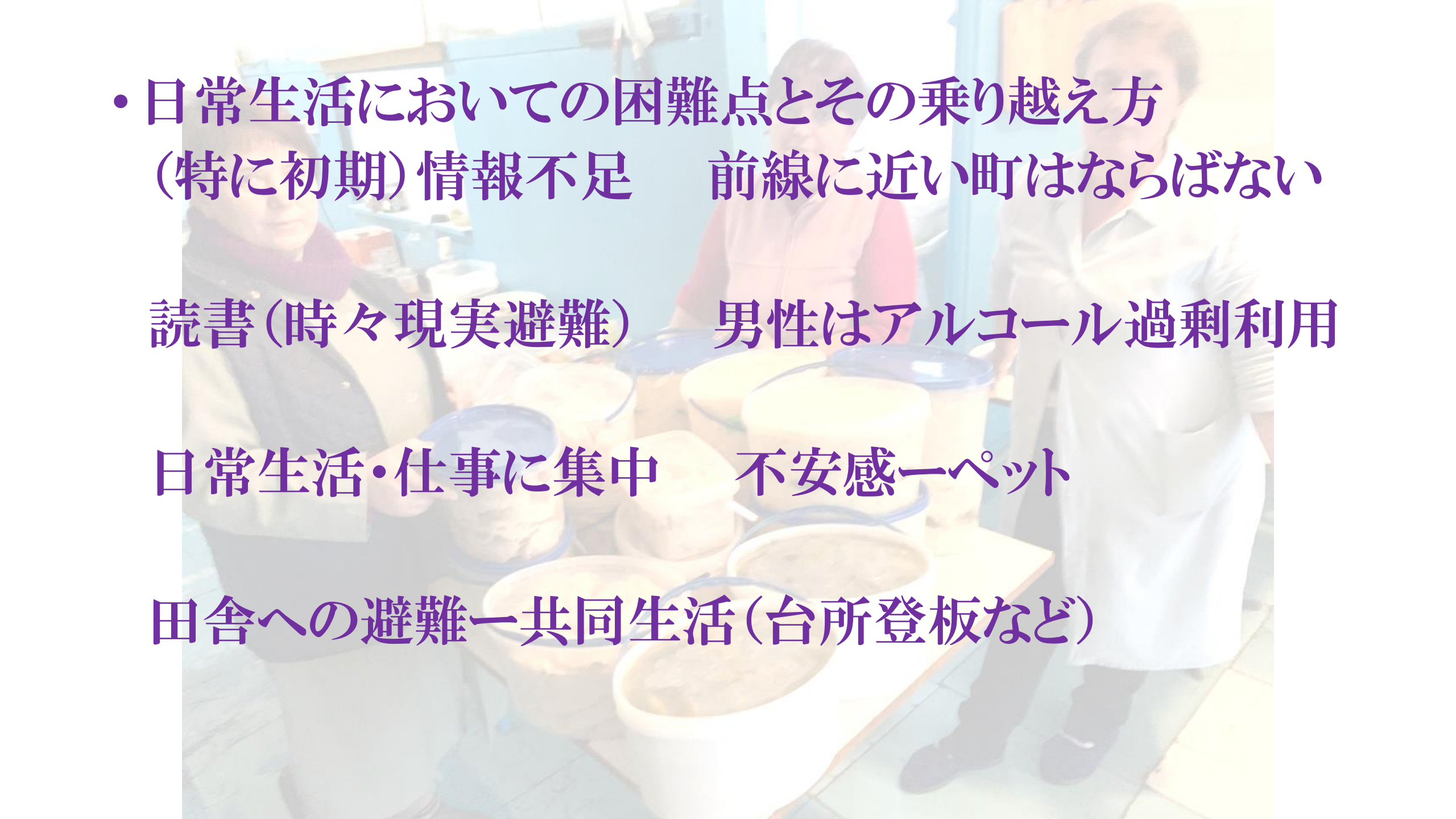
下水の断水(袋、その後に森で埋める) お家での教育

遠隔業務 空襲警報の時に交通機関が止まる  
(自動車乗り合い、コンクリートのバス停)

田舎への移住(木の薪、トイレ) 薬不足(最初・前線に近い)





- 
- 日常生活においての困難点とその乗り越え方  
(特に初期) 情報不足 前線に近い町はならない
  - 読書(時々現実避難) 男性はアルコール過剰利用
  - 日常生活・仕事に集中 不安感ーペット
  - 田舎への避難ー共同生活(台所登板など)



・国家による支援（プラス点、マイナス点）  
「何もしてくれない」は大半 「邪魔者」一部の回答

税金・関税の不適切性 国境を超えるルール 汚職  
(国防省、マンションの管理委員会)

政府・自治体の区別がない 資料を集めるのは困難

病院で無料医療品不足

• 国家による支援（プラス点、マイナス点）

飲み水届 堅固の点 非常事態対応組織員

銅像を砂の入った袋で守る 給料・年金が定期的

国内避難民支援 児童手当 大統領の国際活動

家族収入によって6000フリヴニャ提供 薬局の営業

命に必用な来るすりがある



# • 周りの人々への手助け

軍への支援(金銭、服、食べ物、マスキングネット、マスキングネット、ロウソク、洗濯、シャワー、お話、車の修理)

周りの人々との会話、 チャリティー、 動物の餌

お年寄りの世話 献血 病院でのボランティア

支援物資の届 手作り編み物 食料品分け合い

・周りの人々への手助け

ベビーシッティング 無料で住まい提供 周辺防衛

無料食事提供 老人ホーム・孤児院 貧しい人の支援

使わない服・物の提供 子供芸術教育(子供の支援多数)

美容室に行かない→軍への金銭支援(我々の男の子に)

射撃の中に野良動物への餌 (動物への支援が多い)

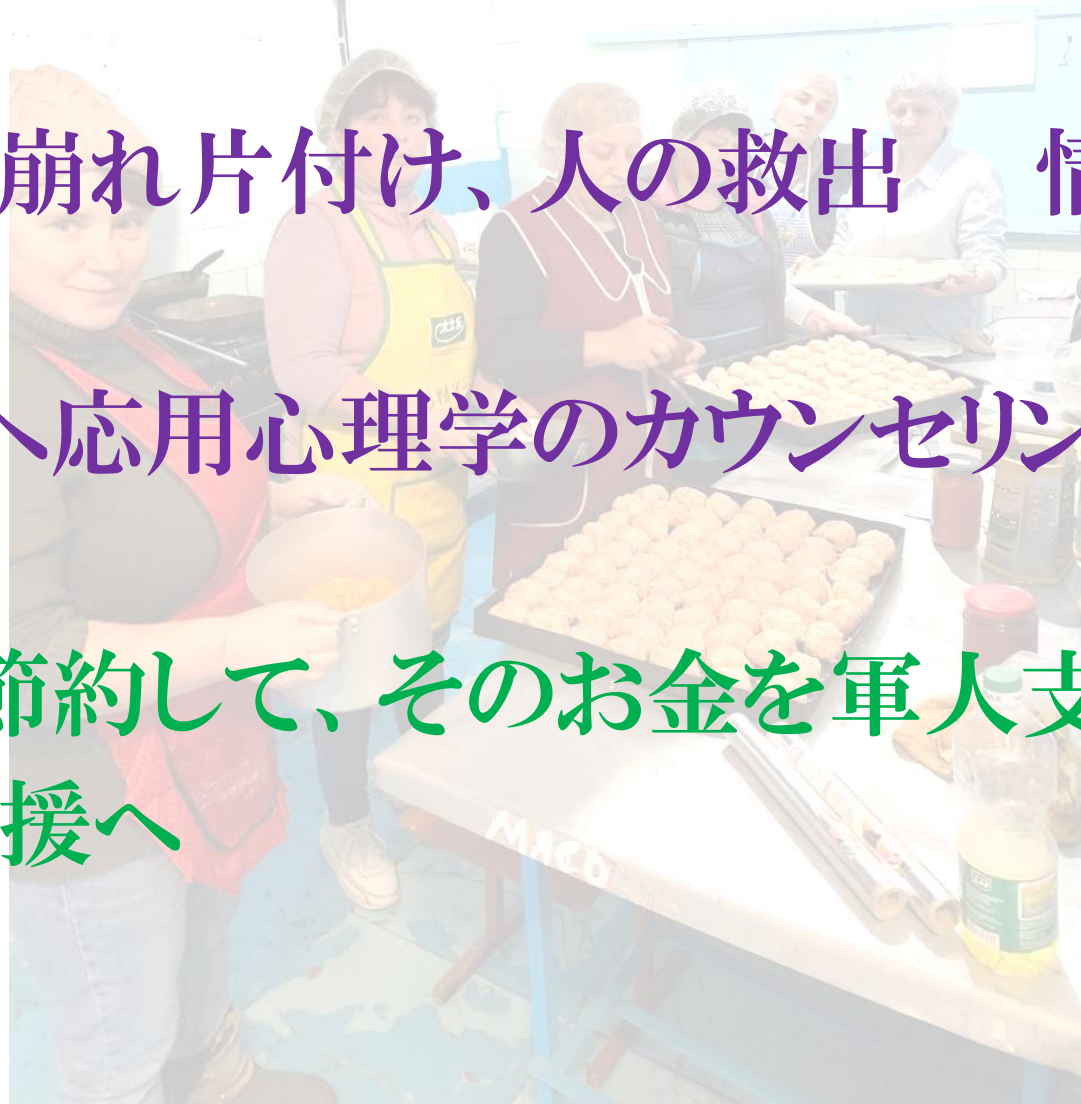
- 周りの人々への手助け

塹壕ロウソク、軍用水フィルター開発（子供と）

射撃の後に崩れ片付け、人の救出 情報共有

学生・子供へ応用心理学のカウンセリング

できるだけ節約して、そのお金を軍人支援や周りの人々への支援へ





- こんなに遠い日本で我々の生活に興味を持つ人が本当にいるの？
- 私たちは絶対に降伏しないからね
- 私たちはここでしっかりと生きていくと知ってほしいね

ご清聴ありがとうございました